

8月1日（火）

企業幹部等とのビジネスラウンドテーブル

メイヤー・ブラウン法律事務所において、J Pモルガンのバーナード・コー氏、BMOグループのミー・コノパセク氏などの企業幹部やイリノイ州のクリスティン・リチャーズ商務・経済機会局部長等が出席する中、大阪市のプレゼンテーションを中心とするビジネスラウンドテーブルが開催された。

ビジネスラウンドテーブルに先立ち、シカゴの様々な分野のビジネスパーソンと、意見交換などの交流を幅広く行った。

その後、メイヤー・ブラウン法律事務所シニアパートナーのマーシャ・グッドマン氏、根本裕之 J E T R O シカゴ事務所長から挨拶があり、出席者一人一人の自己紹介が行われた後、岡本経済戦略局長、横山市長によるプレゼンテーションが行われた。

岡本経済戦略局長からは、2019年にG 2 0 サミットを開催、2025年には大阪・関西万博の開催を控えているなど、大規模な世界的イベントの実績があること、大阪が西日本の拠点都市であり、300年前には堂島米取引所が開設するなど、従前から商取引が活発であることなどが紹介された。

横山市長からは、2025年の万博ではヘルスケアパビリオンを設置し、REBORNをテーマに先進医療などの展示を行うことに加え、2024年に中之島エリアにおいても先進医療の拠点を整備予定であることや、2022年には中之島美術館が開館したこと、うめきたには新駅が開業し、2031年に関西国際空港までつながる予定であることなど、中之島やうめきた地域の魅力について説明した。



意見交換する片山議長



横山市長によるプレゼンテーション

また、夢洲ではI Rを整備予定であり、ホテルや大型会議場、カジノなどのエンターテインメント施設により、観光客等が見込めること、現在、国際金融都市として、様々な税制優遇措置などを検討しているなど、大阪が持つポテンシャルの高さについてアピールが行われた。

その後、質疑応答となった。

【質疑応答】

- ・うめきたの開発において、ビルの高さ制限を緩和する際、かなり迅速な対応をしたと聞いている。スピード感を持った決定はどのように達成できているのか。シカゴでも同様に規制をなくしていきたいと考えているのだが、どのようにすればうまくいくのか。

⇒大阪の特徴として伊丹空港が近くにあり、建物の高さ制限は厳しくなっている。

また、御堂筋の景観を守るために、高さを一定に揃えているという趣旨もある。ただ、大阪市というまちは関西経済圏の中心であり、高さ制限を検討することによって多くのビジネスチャンスを生み出す可能性があった。このような考えを多くの市民や議会が応援してくれたことにより、新しい成長の投資に動いているのが現状である。また、大阪府知事と大阪市長の人間関係がよい期間がここ10年程度続いており、大阪全体の成長の最適化を目指せる状態にあることも特徴である。

さらに、うめきた地域は国からスーパーシティに指定されており、従前は建築規制を変える際には国の省庁ごとに働きかけが必要だったものが、政府の窓口に一本化された。そのため、省庁ごとに検討期間が必要だったものが、政府から指示が下りるようになり規制緩和が一気に進んだ面もある。この仕組みはうめきただけでなく、万博を開催する夢洲でも行われている。



発言する片山議長

- ・東京とはどのように競争し差別化を図るのか。

⇒日本では東京一極集中が進んでおり、技術も人も東京に集まる傾向がある。ただ、コロナ禍を通じてオンライン化が進み、東京にいなくてもビジネスができるという認識が広がっている。大阪が以前から持っている強みである健康医療産業などを生かした土台作りを進めているところである。

また、都市の文化として、外国籍の方が比較的、生活に溶け込んでいるのも特徴

の一つである。日本の中で東京と戦うというよりは、アジアの中でオンリーワンを目指すのも戦略であり、地理的に、京都や神戸、奈良に近く、観光資源の面では東京にも勝ると考えている。

・脱カーボンについてどのように進めているのか。

⇒下水道から発生するカーボンをもとに発電を行っている。また、公園などで雨水を貯めて浸水を防ぐとともに、まちの温度を下げる取り組みを行っている。企業においてもカーボンニュートラルに向けた様々な取り組みが進められており、引き続き調査を続けていく。



ビジネスラウンドテーブルの様子

シカゴ市議会議員との意見交換

ワールドビジネスシカゴ内において、ギルバート・ヴィレガス、ラモント・J・ロビンソン、ティミー・クヌットセンの3名のシカゴ市議会議員に出迎えられ、片山議長の挨拶の後、シカゴ市の現状や観光施策など様々な観点から意見交換を行った。

【片山市会議長 挨拶要旨】

本日は、シカゴ市議会議員の皆様方とお会いできることを大変楽しみにしていた。皆様方の心温まる歓迎に心から感謝申し上げる。

このたび、大阪とシカゴの姉妹都市提携50周年を記念して、交流を深める機会を得られたことに感謝し、本日は、時間の許す限り意見交換し、交流を深め、多くのものを吸収して帰りたいと思っている。

ご存知のとおり、シカゴ市と大阪市は、1973年にパートナー都市提携を行って以来、経済、文化、学術などあらゆる分野での交流を深めており、



片山議長の挨拶

めでたく50周年という記念すべき年を迎えた。

今後は、さらなる発展に努めていかなければならないと考えており、新たな時代に向けて、両都市の絆が今まで以上に緊密なものとなることを祈念する。

また、2025年には大阪・関西万博が開催される。ぜひ、シカゴの皆様にも大阪にお越しいただき、活力あふれるその姿を目の当たりにしていただきたい。

【意見交換】

- ・シカゴのリンカーンパークには動物園がある。大阪市にも市内中心部の天王寺に動物園があるが、リンカーンパークにある動物園の特徴は何か。

⇒リンカーンパーク内の動物園には無料で入ることができる。補助金もあるが、会社や個人からの寄附金により運営されている。夜間営業も行うことがある。

- ・シカゴ市には水族館もあるが、その特徴は。

⇒水族館には非常に多くの水が必要と思われているが、高度な浄化システムで水を循環させているので、外部からそれほど多くの水を取り込む必要がない。また、海水と淡水、両方の水槽がある。

- ・大阪ではI Rの誘致が進んでいるが、シカゴの状況は。

⇒前市長がシカゴで初めてカジノを作ること許可し、2026年の開業に向けて現在建設中である。完成までまだ3年ほどかかるので、その間は一時的な施設を今年建設し、歳入を得ている。反対する方もいるが、カジノで得た歳入によって警察や消防職員等の退職金や年金を払うことができる。



意見交換の様子

- ・10年前に比べて観光客が増えているようだが、何か施策を行ったのか。

⇒ロックコンサートやカーレースなどの大規模イベントを行うことによって人を呼び込んでいる。動物園や水族館や美術館などで魅力のあるものを展示し続けることが重要である。また、シカゴには多様な国のものが食べられるレストランが多く、それを目当てに来てくれる観光客もいる。

- ・映画やドラマの撮影も多く行われているが、誘致活動を行っているのか。

⇒シカゴには大きな撮影スタジオがあり、中には映画に特化したスタジオもある。誘致活動も行っている。映画業界は非常に有力なコンテンツだと考えている。

- ・シカゴは所得やインフラ整備に地域差があるようだが、行政サービスを提供する上で、均一的な行政サービスを提供しているのか、地域差に応じて施策を変えているのか。

⇒美しい場所である一方で経済的に苦しい地域もある。逆に、鉄道の通っている場所の近くはとてにぎわっている。新しく就任したジョンソン市長は、どちらかといえば豊かではない地域出身であることから、格差を少なくする施策を進めることを議会としても願っている。ジョンソン市長が就任したことは、格差をなくす絶好の機会である。



シカゴ市議会議員と

ザ・マグニフィセント・マイル視察

ザ・マグニフィセント・マイルはシカゴで最も有名なショッピング通りの一つで、シカゴ川の北部からオーク通りまでのノース・ミシガン・アベニューのことを言う。世界の一流ホテルやショップを集結させたことで、世界を代表する5つ星ホテルや高級ショッピングモール、一流レストラン、有名ブランドの店が隣り合わせに立ち並んでいる。シカゴ市とザ・マグニフィセント・マイル協会が連携し、高質な道路空間の形成や創出に取り組んでいる。

ザ・マグニフィセント・マイルと大阪市の中心部を通る御堂筋は、2018年に吉村市長と大阪市会代表団がシカゴ市を訪問した際、「日本国大阪市とアメリカ合衆国シカゴ市とのメインストリートにおける連携、交流に関する協定書」を締結し、姉妹ストリートとして交流していくことを確認した。協定書の主な点は下記の3点である。

- ・芸術・文化交流・観光・新技術活用の分野におけるビジネスやマーケティングに

活かすことができる道路に関連させた施策連携

- ・人中心の道づくりに向けた道路空間再編の分野における技術交流、情報交換、情報発信
- ・官民連携・パブリックスペースを活用した賑わい創出などの分野における技術交流、情報交換、情報発信



姉妹ストリート協定締結記念プレートの前で

ザ・マグニフィセント・マイル沿いのティファニー前にある記念プレートを囲み、ザ・マグニフィセント・マイル協会のキンベリー・ベアーズCEOからの歓迎の挨拶の後、横山市長、片山議長がそれぞれ挨拶を行った。

【横山市長 挨拶要旨】

ティファニーアンドカンパニーはじめ、ザ・マグニフィセント・マイル協会の皆様におかれては、大阪市代表団を温かくお迎えいただき、心より感謝申し上げます。

ここ、ザ・マグニフィセント・マイルでは、協会の皆様が主体となり、高質な道路空間の形成や賑わいの創出が行われていると聞いており、今回、視察できることを大変嬉しく思う。

ザ・マグニフィセント・マイルと5年前に姉妹ストリート協定を結ばせていただいた御堂筋では、車中心から人中心のストリートへの転換に向け、道路の空間再編を進めており、道路空間をより魅力的なものとするため、協会の皆様の取り組みから大いに学んでいきたいと考えており、引き続きの連携・交流をお願いしたい。

また、大阪では2024年に世界ストリート国際会議、2025年に大阪・関西万博の開催を予定しており、ここにおられる皆さんにも是非、大阪にお越しいただき、各イベントに参加いただくとともに、姿を変えていく御堂筋をご覧いただけたらと思う。



姉妹ストリート協定締結記念プレート

最後に、ストリートから生み出される魅力や賑わいにより、まちがますます魅力的で、活力あふれるものとなり、シカゴ市、大阪市、両市がさらに発展していくことを祈念する。

【片山市会議長 挨拶要旨】

キンベリー・ベアーズCEOをはじめ、ザ・マグニフィセント・マイル協会の皆様には、貴重なお時間を割いていただき感謝申し上げます。

本日は、ザ・マグニフィセント・マイルの取り組みについて、ベアーズCEOから直接ご説明をいただけると伺っており、両市ストリートの更なる連携に向けて、学ばせていただければと思っている。

これまで両市が積み重ねてきた交流が、姉妹都市提携50周年という節目を迎えたことは誠に意義深く、このような機会をいただけることは大変喜ばしいものである。

今後とも、大阪市とシカゴ市のますますの発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を祈念する。



ザ・マグニフィセント・マイルの様子

挨拶の後、キンベリー・ベアーズCEOの案内によりザ・マグニフィセント・マイルを視察し、今後のさらなる連携を確認した。



キンベリー・ベアーズCEOを囲んで

ミレニアム・パーク視察

ミレニアム・パークは、鉄道用地であった土地に西暦2000年のミレニアムを記念して開設が決定し、2004年にオープンした9.9ヘクタールの公園であり、シカゴ市文化局とのパートナーシップにより、ミレニアム・パーク財団が管理している。

シカゴの都心部に位置し、公園の地下には鉄道駅もある交通至便な立地となっている。企業や個人、財団等の寄附を主な財源として公園の施設が整備され、世界的な建築家や芸術家等による建築物や屋外芸術作品などが数多く設置されている。また、コンサートや様々な文化イベント等が開催されるシカゴ有数の観光地となっている。



ジェイ・プリツカー・パビリオン
(野外コンサート施設)



クラウン・ファウンテン
(屋外アート施設)

ミレニアム・パークと大阪市のうめきた公園には、都心の一等地の交通結節点に位置する都市の顔となる公園である点、民間事業者主導によるデザインや、民間との連携による管理運営などの先進的な取り組みを実施している点、ミレニアム・パークとルリー・ガーデンとうめきた公園の設計事務所がともにグスタフソン・ガスリー・ニコル社である点、長期にわたって鉄道用地として使用されていた土地を公園として整備した点など共通点が多く、今後、それぞれが培ってきたノウハウなどの技術交流、両公園の課題解決に向けた意見交換、2024年のうめきた2期区域の先行まちびらきや2025年の大阪・関西万博、2027



クラウド・ゲート
(屋外アート施設)

年のうめきた区域全体まちびらきなどの時期に双方の公園のプロモーション等を展開していくなど、両公園の連携が期待できるところである。



ルリー・ガーデンで説明を聴取する様子

ダックワース連邦上院議員との意見交換

大阪の経済ポテンシャルや万博をはじめとする各種施策、大阪市とアメリカとの経済交流等について意見交換を行うため、イリノイ州選出の連邦上院議員であるタミー・ダックワース氏と面会した。

上院議員の事務所において、ダックワース氏から歓迎を受け、横山市長、片山議長の挨拶の後、意見交換を行った。

【横山市長 挨拶要旨】

ダックワース連邦上院議員におかれては、本当にお忙しい中お時間をいただき感謝申し上げます。

アメリカとアジアの関係に特にご尽力いただき、日本にも2月にお越しいただいたと伺っており、次回は是非大阪にもお越し願いたい。

シカゴは経済やまちの文化、エンターテインメント、川、食文化など、大阪市との

共通点が多い。大阪では現在、多数のプロジェクトが進行しており、2025年には夢洲で万博が開かれる予定であり、成功に向けて全力を尽くしている。また、国際金融都市を目指しており、外国企業の誘致に取り組んでいる。是非、関心や興味を持ってもらえたら光栄である。

【片山市会議長 挨拶要旨】

大阪市議員81名の代表として今回訪問させていただいた。シカゴは国際的な社会奉仕団体であるロータリークラブの発祥の地であり、一度訪問してみたいと思っていた。



ダックワース連邦上院議員に挨拶する横山市長と片山議長

ダックワース連邦上院議員からは、日米の経済関係に強い関心を持っており、軍事同盟と同じくらい経済関係が重要である。日本とアメリカがパートナーシップの中で互いに強みを生かすことで最大の効果を生み出すことができると考える。例えば、シカゴを中心とするユナイテッド航空は、持続可能な航空サービスの提供に向けて、バイオジェット燃料を作っているが、それをエネルギーにしてエンジンを動かしたり飛行機を飛ばす技術を必要としており、カーボンニュートラルに向けた方針を打ち出している全日空と提携している。このように、アメリカがビジネスを強化していく上では、日本とパートナーを組んでいくことが重要である旨の発言があった。



ダックワース連邦上院議員と意見交換する様子

シカゴ市長表敬訪問

シカゴカルチャーセンター内の会議室において、本年4月5日に就任されたシカゴ市のブランドン・ジョンソン市長への表敬訪問を行った。横山市長、片山議長の挨拶の後、大阪市とシカゴ市の姉妹都市交流のさらなる促進に向けて交流を深めた。

【横山市長 挨拶要旨】

ブランドン・ジョンソン市長におかれては、お忙しい中の対応、本当に感謝申し上げます。また、激戦の市長選を制され、ご当選されたことをお祝いする。

大阪市とシカゴ市は本年、提携50周年を迎えた。水の都など共通点があり、ストリート提携など、これからも交流を深めていきたい。

11月には、シカゴからの代表団を大阪にお迎えする予定であり、是非皆様にお越しいただきたい。

2025年には万博を大阪で開催する。日本の技術や夢をご覧いただきたい。

【片山市会議長 挨拶要旨】

本日は、ブランドン・ジョンソン市長とお会いできることを大変楽しみにしていた。皆様方の心温まる歓迎に心から感謝申し上げます。

このたび、大阪とシカゴの姉妹都市提携50周年を記念して、シカゴ市を訪問できたことを大変光栄に存ずる。また、こうして交流を深める貴重な機会を得られたことに大変嬉しく、感謝している。

シカゴ市は、先ほど視察したザ・マグニフィセント・マイルをはじめ、多くの独創的なデザインのビルや超高層ビル群など、都市景観の素晴らしさを実感している。

明日、記念植樹をするジャクソンパークの「大阪ガーデン」は、1893年のシカゴ万博の日本パビリオン跡地に整備された日本庭園として、

大阪市とシカゴ市の友好の懸け橋になっていると聞いている。

2025年には大阪・関西万博が開催される。是非、シカゴの皆様にも大阪にお越しいただき、活力あふれるその姿と大阪のおもてなしを感じていただきたい。



片山議長とジョンソン市長



ジョンソン市長との懇談の様子

姉妹都市提携50周年記念レセプション

シカゴカルチャーセンターにおいて、シカゴ姉妹都市インターナショナル及びワールドビジネスシカゴの主催による姉妹都市提携50周年記念レセプションが開催された。

シカゴカルチャーセンターは、100年以上の歴史を持つ建物で、著名な建築家や職人により豪華な資材を用いて建築された。現在はシカゴの文化的な拠点として国内外のアーティストやミュージシャンが活動を行っている。

スティーブ・ドリンスキー氏の司会により、アフター・スクール・マターズによるダンスパフォーマンス、マイケル・ファスナート・ワールドビジネスシカゴ代表兼CEO、ポール・ラツキ・スミトモエレクトリックカーバイドGM、田島在シカゴ日本

国総領事、ブランドン・ジョンソン・シカゴ市長、横山市長の挨拶の後、大阪市とシカゴ市の姉妹都市の絆をさらに深める宣言への署名が行われた。



カルチャーセンターの内部



姉妹都市の絆をさらに深める宣言への署名

その後、片山議長の挨拶があり、シカゴ姉妹都市インターナショナル大阪委員会の名嘉君代委員長、野毛洋子委員の挨拶に続き、野毛氏らによる演奏が披露される中、参加者同士の意見交換が行われ、有意義な時間を共有することができた。

【片山市会議長 挨拶要旨】

本日は、このように大阪市とシカゴ市の姉妹都市提携50周年を記念するレセプションに参加できることを心より嬉しく思う。

在シカゴ日本国総領事館の田島総領事、シカゴ姉妹都市インターナショナル大阪委員会の名嘉委員長をはじめ、大阪市とシカゴ市の50周年記念事業の成功にご尽力いただいている全ての関係者の方々に、市会を代表し、この場を借りてお礼申し上げます。

大阪市とシカゴ市は、これまで官民ともに様々な交流を行ってきた。両市の交流をさらに深め、大阪市とシカゴ市が、それぞれの得意分野を生かした提携を行うなど、より一層良好な関係を築いていくことになればと願っている。

今後とも、両市民のより一層の交流の促進と、本日ご出席の皆様のますますのご健勝・ご多幸を祈念する。



片山議長の挨拶



レセプションの様子